

広報

第978号

いながわ

2月

令和3年
(2021年)



久々の再会☆(文化体育館・令和3年成人式)※31ページで紹介

特集

シニア世代に生きがいを

～NPO法人 元気ファーマいながわの取り組み～

緊急事態宣言発令中・新型コロナ関連情報 〇 8

確定申告は電子・郵送で 〇 10

瞬(ときめき) 能地 優 さん 〇 25

ガイドのオススメ★

彫刻を巡り伏見台～内馬場を巡る 〇 26

いながわ特派員報告

親子で楽しむ!登録子育てグループ 〇 28



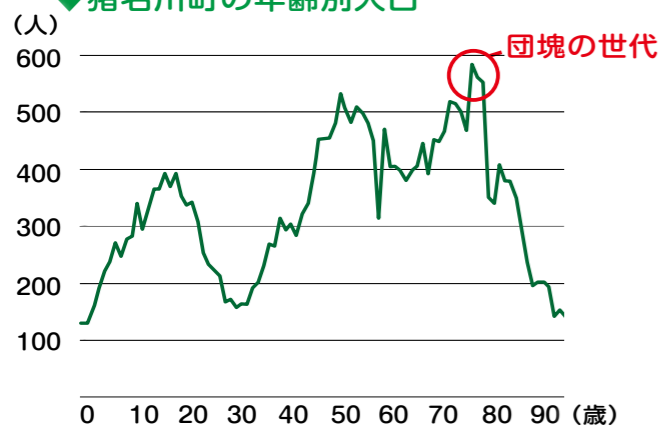
雪だるまのデート(大野アルプスランド・恋人の聖地)



※写真撮影時に短時間マスクを外しています



◆猪名川町の年齢別人口



日本の礎を築いた団塊の世代
 日本では、戦後に「第一次ベビーブーム」が起こり、1947年からの3年間は全国の出生者数が年間260万人を超え、大幅に人口が増加しました（現在は年間約87万人）。本町の年齢別人口（左表）でも、現在71〜73歳にあたるこの世代の人たちの割合が高いことがわかります。
 この3年間に生まれた人たちは「団塊の世代」と呼ばれ、日本の高度経済成長期に経済の発展を支え、現在の豊かな暮らしの礎を築いてこられました。

特集

シニア世代に生きがいを

～NPO法人元気ファーマいながわの取り組み～

「健康長寿のまち・猪名川町」の元気の源となっているシニア世代の皆さん。
 今号では、そのシニア世代の中でも「団塊の世代」の皆さんが中心となり、町内で野菜づくりに取り組む「NPO法人元気ファーマいながわ」の活動やその想い、「生きがい」や「やりがい」を持つことの魅力をお伝えします。
 ▷問合せ 地域交流課 (☎ 766 - 8783)

シニア世代に生きがいを

一方で、2000年代に入ると、この「団塊の世代」の高齢化が、社会全体の活力の低下につながってしまふことが懸念されるようになりました。

団塊の世代の皆さんが元気に過ごせるように。町では、団塊の世代が60歳となった平成19年から、野菜づくりを通じて、「生きがい」や「やりがい」を持ち、生き生きと生活してもらうための取り組みとして「シニアファーマー養成講座」を始めました。

講座の受講をきっかけに

講座は、「これまで農作業をしたことがない」「子どものころに両親が農作業をしていて懐かし」「など、ニュータウンにお住まいの方を中心に多くの人に参加いただきました。

今回紹介する「NPO法人元気ファーマいながわ（以下、元気ファーマー）」は、この講習の受講者が中心となり設立された団体です。どのような想いで法人を設立し、現在まで続けてこられたのでしょうか。

次ページでは、元気ファーマーの皆さんのお話をお届けします。

地域への恩返しと つながりを大切に ～元気ファーマの主な取り組み～

野菜づくり講座の開設・運営

元気ファーマでは、平成23年まで町が行っていた「シニアファーマー養成講座」を引き継ぎ、実施しています。
※令和3年度の募集は7ページ

地域の緑化推進

休耕田を活用し、野菜づくりのほか道の駅周辺などで春には菜の花、夏にはヒマワリやミソハギなどの景観作物を植栽しています。写真の撮影など、気軽にお越しください！

地域との交流

「いながわまつり」などのイベントでの野菜販売、学校給食への野菜の提供、子どもや障がいのある人たちへの野菜の作付け・収穫体験など、地域の皆さんとの交流や食育推進活動も行っています。



元気ファーマの活動などの詳細はホームページ



※収穫体験の写真は昨年以前のものです



野菜づくりを通じて「生きがい」を共有！ 元気ファーマいながわ

**生きがい、やりがいを
社会貢献につなげる**

法人立ち上げ当初は万善・南田原両地区で合計0.6ヘクタールほどの面積でしたが、徐々に規模を拡大し、現在は42人の会員と1.5ヘクタールの畑で活動しています。年間90種類ほどの野菜を作り、収穫した野菜は基本的には自分たちで持ち帰っています。また、たくさんできたり、きれいにできたものは「道の駅いながわ」へ出しています。私も含めてですが、元気ファーマの会員はみんな最初は「ちょっとやってみようかな」くらいの軽い気持ちで参加した人が多いです。ところが、いざ参加してみると楽しくて、今はこれが生きがいになったという人もおられます。「人生百年時代」を迎えた現代、私たちもまだまだこれから社会のために役立ちたい、という想いもあります。自分たちと同じようなシニア世代、野菜づくりに興味がある人や子どもたちなど、多くの人たちと楽しみを共有し、さらには休耕田の活用など地域社会への貢献もしていければと考えています。いつまでも「生涯現役」の気分、若々しく元気に、これからも活動していきたいと思っております。

講座で知った野菜づくりの楽しさ

私たち「元気ファーマ」は、平成23年の法人設立から今年で満10年を迎えました。これまで続けてこられたのは農地を貸してくださっている農家の方々や、地域の皆さんのご理解のおかげと感謝しております。

私は「シニアファーマー養成講座」の平成20年の受講生だったんですが、受講を通じて、農作物を育て、収穫する喜びや受講生同士で交流する楽しさを知りました。野菜づくりでは、「野菜は足音を聞いて育つから、まめに畑に行く」とか「野菜の顔を見て肥料をやる」など、まるで生き物を相手にするような表現で例えることがありますが、要するに「こまめに世話をし、人と同じように愛情を持って育てることが大切」という意味なのですが、実際に経



元気ファーマいながわ 副理事長 福岡 利昭 (松尾台)

**受講者同士で話し合い
法人の設立へ**

野菜づくりの魅力がわかってきた一方、一年間の講座が終わりに近づくと、期間中にできた仲間たちと一緒に「野菜づくりを続けたい」という想いが芽生えてきました。平成19年に受講された1期生の人たちも同じような想いを持っておられ、受講者同士で話し合い、「何とかして野菜づくりを続けることができなにか」と考えました。そんな中、「NPO法人を立ち上げて、野菜づくりを始めてはどうか」という提案があり、32人の受講生仲間とともに設立することになりました。



野菜づくりを楽しもう！

野菜づくり講座～第9期受講生募集～



▶受講期間 前期＝4月中旬～8月上旬、後期＝8月下旬～12月上旬
いずれも毎週土曜日午前9時30分～11時30分、全15回（うち7回講義）

▶内容 万善地内（道の駅いながわ周辺）の実習農場で1人あたり10㎡程度の農地を使い、季節の野菜づくりの理論と実技を学ぶ（収穫した野菜は持ち帰ります）

▶費用 前期・後期各6,000円

▶定員 先着20人

▶申込・問合せ 3月31日までに
NPO法人元気ファーマいながわ 秋澤さん（☎・☎766-2307）



自治会などの健康体操教室

生きがい、やりがいを持った
シニア世代が「まちの魅力」に
猪名川町は県下でも有数の、シニア世代が元気な「健康長寿のまち」です。
今回ご紹介した元気ファーマの皆さんは、明るく、楽しく、前向きに、野菜づくりやそれを通じた地域貢献など精力的に活動されています。また、今後は農業の担い手として、ますますの活躍も期待されるなど、元気なシニア世代のモデルのような方々です。
また、町には元気ファーマの皆さん以外にもスポーツや文化活動、各自治会活動など、様々な「生きがい」「やりがい」を持って活躍し、生活されている人がたくさんいらっしゃいます。そういった皆さんの元気が猪名川町の魅力



地域交流課
角田 泰司 課長

「何か始めたいけどきっかけがない」という人がいらっしゃるかもしれません。町内各施設が開催している教室などもありますので、毎月の「広報いながわ」などをご覧いただき、色々なことにチャレンジしてみたいかがでしょうか。
であり、健康長寿のまちとしての自慢であると考えています。
一方で、団塊の世代が75歳を超え、後期高齢者となる「2025年問題」が目前に迫る中、医療費の増加による国や自治体財政の圧迫などが懸念されています。シニア世代が健康に過ごしていただくことは、その抑制にもつながります。
「何か始めたいけどきっかけがない」という人がいらっしゃるかもしれません。町内各施設が開催している教室などもありますので、毎月の「広報いながわ」などをご覧いただき、色々なことにチャレンジしてみたいかがでしょうか。



スポーツセンターの
体操教室

みんな生き生き

元気ファーマの皆さん

インタビュー

会員の皆さんに聞いた元気ファーマの

「いいところ」やそれぞれの「野菜づくりへの想い」を紹介します！



鎌田さん（白金）
美味しい野菜を作りながら、色んな人との雑談を楽しんでいます。日光にあたると気持ちがいいです。



今田さん（伏見台）
メンバーみんなの笑顔を見るために、欠かさず通っています。法人の決算書類の作成も担当しています！



岡林さん（つつじが丘）
自分で作った野菜を食べたいと思って始めました。女性メンバーも多いので、お友だちもできました！



高松さん（白金）
庭いじりの延長のような軽い気持ちで始めました。仕事の経験を活かして、農機具の整備を担当しています！



中道さん（若葉）
野菜を子どもや孫にもお裾分けすると喜んでもらえるのが嬉しいです！新しい作物にも挑戦していきたいです。



清水さん（川西市）
みんなでワイワイしながら野菜を作るのが楽しいです！川西市からですが、もう10年以上続けています！



奥村さん（松尾台）
小さな種から大きな実に成長する作物の姿に感動して、野菜づくりの魅力にハマってしまいました！



寺島さん（伏見台）
田舎育ちで実家も農家でした。もともと野菜づくりが好きだったので、猪名川町でまたできて嬉しいです！

多士済々！みんなの力が結集して10周年



元気ファーマいながわ
秋澤 亮一 理事長
（松尾台）

ここまで元気ファーマを続けてこられたのは、地域の皆さんのご理解のもとより、これまでの経験を活かして農機具の修理やホームページの公開、書類作成など、色々な特技を活かして活動を支えてくれた会員の協力があったからこそです。

私自身も元気ファーマを通じて、社会人としてこれまで関わることのなかった地域の人や色々な職種の人にも出会い、新たな交流が生まれたことは続けてきて本当に良かったと思うことの1つです。

これからもこの活動を継続し、私たちと同じように「やりがい」と「喜び」を感じてもらえるきっかけづくりができればと思います。

少しでも興味を持たれた人がおられましたら、お気軽にお問い合わせください。